

平成 17 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（非連結） 平成 17 年 1 月 31 日

上場会社名 株式会社タカキタ (コード番号：6325 東証・名証第二部)  
 (URL http://www.takakita-net.co.jp)  
 代表者 役職名 代表取締役社長 若山 東男 (TEL：0595-63-3111)  
 問合せ先責任者 役職名 取締役 大井 泰嗣

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (内容) 1. 法人税等の計上基準……法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。  
 2. たな卸資産の計上基準……実地たな卸しは行わず、帳簿たな卸しによっております。  
 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有  
 (内容) 1. 当期から固定資産の減損に係る会計基準(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成 14 年 8 月 9 日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 6 号 平成 15 年 10 月 31 日)を適用しております。  
 2. 当期から軸受部門の減価償却の方法を定額法から定率法に変更しております。

2. 平成 17 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況(平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績の進捗状況 (百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 3 月期第 3 四半期	9,008	4.2	308	-	314	-	137	-
16 年 3 月期第 3 四半期	9,405	-	-	-	-	-	-	-
(参考)16 年 3 月期	11,990		297		288		134	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
17 年 3 月期第 3 四半期	8.58	-
16 年 3 月期第 3 四半期	-	-
(参考)16 年 3 月期	7.77	-

(注) 売上高以外の四半期経営成績の開示は当期から行っているため、前年同四半期については記載していません。売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[ 経営成績の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第 3 四半期におけるわが国の経済は、企業収益の改善や設備投資の増加がみられ、雇用情勢も若干改善されたものの、個人消費の伸びが鈍化しており、景気は全体として緩やかな回復基調のうちに推移しましたが、原材料及び原油の高騰、円高等の不安定要因のほか、地震や台風等の災害が発生し、先行き不透明な状況となりました。

農業機械業界におきましては、農業就業者の高齢化や農家戸数・耕地面積の減少、米の消費減退等により、引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、農業機械部門においては、従来主力機種である牧草関連作業機・土作り関連作業機の拡販に努めたほか、除雪機の予約活動を北海道内において積極的に展開し受注に結びつけた結果、売上高は 38 億 97 百万円となりました。

一方、電器音響部門においては、得意先による部品の海外現地調達化が一段と進んでおり、売上高は 47 億 3 百万円となりました。

また、軸受部門においては、設備投資回復により受注が増加し、売上高は 4 億 6 百万円となりました。

以上の結果、当第 3 四半期の売上高は 90 億 8 百万円となり、前期と比較して 4.2%の減収となりました。

一方、利益面においては、原材料のコストアップ要因はあるものの、ムダを排除したコスト低減に取り組んだ結果、営業利益 308 百万円、経常利益 314 百万円、四半期純利益 137 百万円となりました。

## (2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	7,562	3,978	52.6	248.83
16年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	6,727	3,936	58.5	245.56

## 【キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物の 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	178	216	471	104
16年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	398	226	183	28

(注) 当期より四半期財政状態の開示を行っているため、前年同四半期については記載しておりません。

## [ 財政状態の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期末における総資産は、前事業年度末と比較して835百万円増加し、株主資本は42百万円増加しました。資産の増加は、季節的要因による売上債権（ファクタリング債権である未収入金を含む）の増加及び棚卸資産の増加によるものであります。

## 【キャッシュ・フローの状況】

営業活動によるキャッシュ・フローは178百万円となりました。これは主に税引前四半期純利益278百万円、売上債権の増加額499百万円、たな卸資産の増加額154百万円、仕入債務の増加額106百万円を反映したものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは216百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出207百万円を反映したものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは471百万円となりました。これは主に短期借入金の増加額611百万円を反映したものであります。

以上の結果、当第3四半期における現金及び現金同等物は前事業年度末に比べ76百万円増加し、104百万円となりました。

添付資料 要約四半期貸借対照表、要約四半期損益計算書、要約四半期キャッシュ・フロー計算書

## [ 参考 ] 平成17年3月期の業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

(百万円未満切捨)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	11,200	360	150	8.75

第3四半期の業績は概ね順調に推移しており、平成16年11月19日に公表しました業績予想に変更はありません。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって記載の予想数値と異なる可能性があります。

## 〔添付資料〕

## 1. 要約四半期貸借対照表

(千円未満切捨)

科 目	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成16年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>				%	
<b>流動資産</b>					
現金及び預金	314,941	-	-	-	238,222
受取手形	1,050,544	-	-	-	950,241
売掛金	1,174,742	-	-	-	1,111,382
たな卸資産	1,436,069	-	-	-	1,281,854
未収入金	658,078	-	-	-	336,765
その他	76,261	-	-	-	79,491
流動資産合計	4,710,638	-	-	-	3,997,958
<b>固定資産</b>					
建物	539,862	-	-	-	462,985
機械及び装置	390,448	-	-	-	353,352
土地	561,286	-	-	-	719,391
投資有価証券	536,056	-	-	-	546,185
繰延税金資産	261,652	-	-	-	247,416
その他	562,562	-	-	-	400,178
固定資産合計	2,851,867	-	-	-	2,729,509
資産合計	7,562,505	-	-	-	6,727,468
<b>(負債の部)</b>					
<b>流動負債</b>					
支払手形	719,181	-	-	-	578,386
買掛金	985,752	-	-	-	1,004,805
短期借入金	691,000	-	-	-	80,000
その他	344,596	-	-	-	268,112
流動負債合計	2,740,530	-	-	-	1,931,304
<b>固定負債</b>					
退職給付引当金	659,064	-	-	-	621,629
その他	184,266	-	-	-	237,969
固定負債合計	843,331	-	-	-	859,598
負債合計	3,583,861	-	-	-	2,790,902
<b>(資本の部)</b>					
資本合計	3,978,643	-	-	-	3,936,566
負債及び資本合計	7,562,505	-	-	-	6,727,468

(注) 当期より四半期開示を行っているため、前年同四半期については記載しておりません。

2. 要約四半期損益計算書

(千円未満切捨)

科 目	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	9,008,041	-	-	%	11,990,903
売上原価	7,642,528	-	-	-	10,283,675
売上総利益	1,365,513	-	-	-	1,707,227
販売費及び一般 管理費	1,057,102	-	-	-	1,410,053
営業利益	308,410	-	-	-	297,174
営業外収益	36,159	-	-	-	27,797
営業外費用	30,405	-	-	-	36,886
経常利益	314,164	-	-	-	288,086
特別利益	189	-	-	-	2,673
特別損失	35,777	-	-	-	48,500
税引前四半期(当 期)純利益	278,577	-	-	-	242,259
税金費用	141,397	-	-	-	107,984
四半期(当期)純 利益	137,179	-	-	-	134,274

(注) 当期より四半期開示を行っているため、前年同四半期については記載しておりません。

3. 要約四半期キャッシュ・フロー計算書

(千円未満切捨)

	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第3四半期)	(参考) 平成16年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税引前四半期(当期)純利益	278,577	-	242,259
減価償却費	109,522	-	169,805
売上債権の増減額	499,488	-	236,211
たな卸資産の増減額	154,214	-	246,264
仕入債務の増減額	106,877	-	115,845
その他	30,020	-	163,312
小 計	128,704	-	615,383
法人税の支払額	60,816	-	221,128
その他	11,178	-	3,750
営業活動によるキャッシュ・フロー	178,342	-	398,005
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	207,197	-	280,402
その他	8,861	-	53,725
投資活動によるキャッシュ・フロー	216,059	-	226,676
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の純増減額	611,000	-	12,000
長期借入金の返済による支出	60,000	-	93,000
その他	79,879	-	78,453
財務活動によるキャッシュ・フロー	471,120	-	183,453
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	76,719	-	12,123
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	28,222	-	40,346
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	104,941	-	28,222

(注) 当期より四半期開示を行っているため、前年同四半期については記載しておりません。